ALINCO

デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）
RALCWI方式
無線局種別コード：3R（登録局）

DJ-DP50H

取扱説明書

<注意>
・本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請および開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。
登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。
必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。
・音声圧縮（符号化）方式RALCWI以外の無線機とは通話できません。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を充分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管しておいてください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
■本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。乱丁・落丁はお取り替え致します。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0645B
FNEG-EN

アルインコ株式会社

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表　示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△ 記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内の陸上のみです。上空、海上や国外では使用できません。

電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると電波法に違反します。

本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

無線局の登録状の有効期限は5年です。登録状の範囲を超えた運用や登録状を取得しない運用はしないでください。不法無線局となり、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金を課せられることになります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

トランシーバーは調整済みです。このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

後述の説明以外の条件で水をかけたり、水が入ったりしないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器やACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、バッテリーを取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は、法令により禁止されていますので、絶対にお止めください。

■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
■落としたり、ケースを破損したりしたとき
■内部に水や異物が入ったとき
■ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら、屋外での使用時には安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。本製品は雷に対する保護や保証は致しておりません。

■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン/マイクロホン端子には指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、バッテリーを取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

アンテナを持って本体を振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。

ゴムカバーやツマミを無理に引き抜いたりしないでください。故障の原因となります。

■充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、バッテリーを取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。美観上以外にトランシーバーを長く正常にお使いいただくために定期的な清掃は大変有効です。

■運転中の無線機の使用について

運転中に携帯型無線機を手に持って操作・運用したり、無線機の表示部を眺め続けたりしないでください。このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。無線機の運用は必ず安全な場所に停車してから行ってください。

外部に音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで廻りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。

無線機をベルトクリップなどで体に装着して運転しないでください。アンテナや付属品が引っ掛かり、運転の支障となることがあります。そちらに注意を引かれると前方不注意の原因となります。

■耐塵防浸性能について

この製品は設計段階で外郭保護等級IP67規格の耐塵防浸試験に合格しており、保護カバー類を正しく閉めるなど指定の条件を満たしていれば、雨や雪、埃っぽい環境の中でもお使いいただけます。ただし、砂嵐のような風圧や流水のような水圧が掛かる環境下での性能を保証するものではありません。金属製、油性、酸や塩分、化学物質を含む等、特殊な粉塵や液体の場合は製品に使われている素材や部品に付着して腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外ですのでご了承ください。また、出荷前に個別審査を行わない「相当品」ですので、汚れたりした時は埃を払い、乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと永く正常な状態でお使いになれます。保護に使われているカバー類の素材は経年変化のために変質し、保護性能が低下します。弊社では耐塵防浸性能についても製品と同じ1年を保証期間とさせていただきます。なお。耐塵防浸等の言葉が直感的に分かりにくいことから、カタログや説明書の文中では「防塵」「防水」などの言葉で表現する場合があります。

目　次

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■電波法上のご注意

・本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するには予め、登録・開設申請が必要になります。
・他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を盗用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
・本機は日本国内の陸上でのみお使いになれます。海上、上空、海外での使用は違法となり罰せられます。
・住所や名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■使用場所により無線機の使用が規制されている場所があります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院内など）

■本機を複数台でご使用いただく場合、約 10m 以内の近距離で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、妨害を与えたり受けたりすることがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■通信の出来る距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

■改正電波法準拠で2022年12月1日以降も使えるデジタル方式(DCR-Digital Convenience Radio)トランシーバーです。

■業務でも、レジャーでも、目的を選ばず使えます。

■秘話通信により32,767通りから選べるコードが合致しないと通話ができない高い秘話性をもっています。

■5W機だからパワフルで通話エリアがグンと広がります。

■IP67相当の防水で、雨や雪、水まわりの仕事でも安心して使えます。

■話したい人を指定して呼び出すことも、グループ全員を一斉呼び出しすることも自由自在です。

■大音量700mWのオーディオ出力、通報ボタン、ベル、キーロック、子機間通話禁止、バッテリーセーブ、VOX、APO、各種ビープ音やマイク感度の設定などの定番機能を搭載しています。

■別売ケーブル(ERW-8)を使用しパソコンと本機を接続すると、拡張機能「ショートメッセージ機能」「ショックセンサー」が利用可能になります。

■音声圧縮(符号化)方式RALCWIを採用しました。(音声圧縮(符号化)方式RALCWI以外のデジタルトランシーバーとは通話できません)
弊社製DJ-DP10のようなRALCWI方式のデジタルトランシーバーと通信可能です。

お使いになる前に

付属品の確認

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

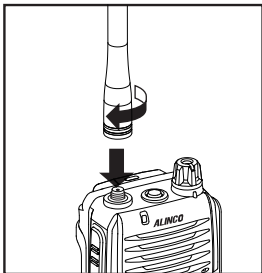
□本体
□バッテリーパック　EBP-82(7.4V 1500mAh)：標準仕様
　　　　　　　　　EBP-89(7.4V 2650mAh)：B仕様
□シングル充電スタンド　EDC-196R
□ACアダプター　EDC-283
□ベルトクリップ(ビス2本付)
□ハンドストラップ
□ミドルアンテナ　EA-198
□取扱説明書(本書)
□申請書類一式
□保証書

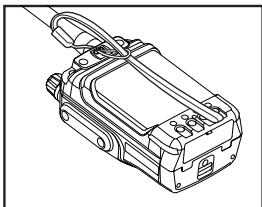
注意 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

弊社純正、または弊社が認めたアクセサリー以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無を問わず有償修理になります。他の無線機メーカー製オプション品が使えるかどうかは検証していないので、ご使用は推奨できません。アクセサリー専業メーカーの製品であれば、そのメーカーにお問い合わせください。
他社製アクセサリーに起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

・・・・・・・・・・ 付属品の取り付け方 ・・・・・・・・・・・

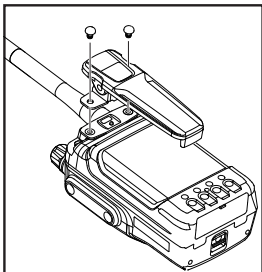
■アンテナの取り付け方

アンテナの根元を持って時計方向(右)に回転が止まるまで回します。
外すときは反時計方向(左)に回します。

■ハンドストラップの取り付け方

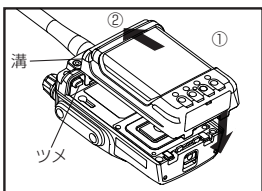
本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

■ベルトクリップの取り付け方

ベルトクリップをネジで本体の背面部の溝に合わせて取り付けます。

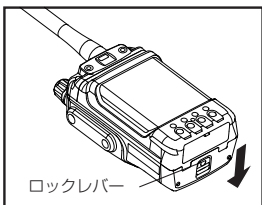
注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。

ベルトクリップユニット EBC-27
（ベルトクリップ１個、ネジ２本）

■バッテリーパックの取り付け / 取り外し

●バッテリーパックの取り付け方

バッテリーパックの溝を本体のツメに合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込んで「カチッ」と音がするまでしっかりと固定します。
ロックレバーが固定されているか確認します。

●バッテリーパックの取り外し方

本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取り外します。

注：スライドさせる際は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。

参考
・外部電源の使用
本機は外部電源端子はありません、外部電源での使用はできません。
・バッテリーの持ちに不安がある時はスペアのバッテリーパックを充電して携帯してください。

■バッテリーパックのショート防止

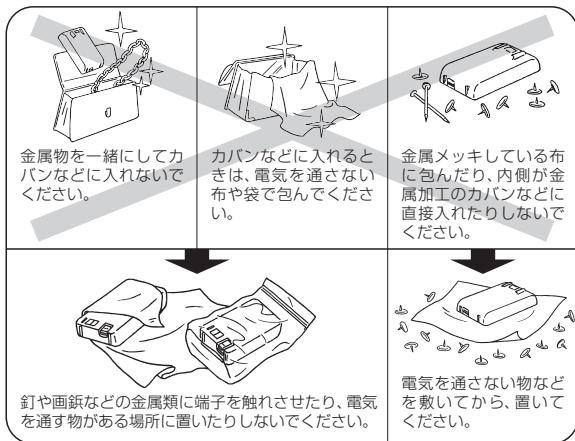
バッテリーパックを持ち運ぶときは、十分ご注意ください。ショートによって電流が急増し、発火の原因となることがあります。

金属物を一緒にしてカバンなどに入れないでください。

カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。

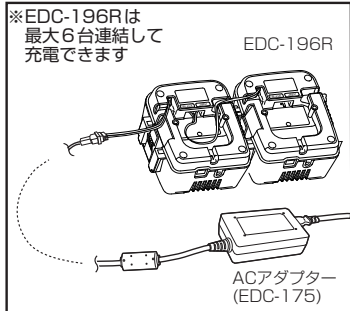
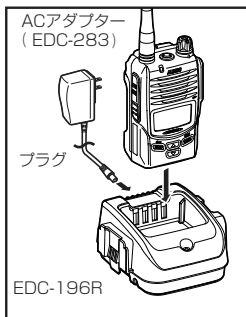
金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。

釘や画鋲などの金属類に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置いたりしないでください。

電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。

注意
- バッテリーパックは出荷時には充分に充電されておりません。お買い上げ後にフル充電してからご使用ください。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲内で行ってください。
- バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
- バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- 必要以上の長時間の充電(過充電)はバッテリーの性能を低下させますのでお止めください。
- バッテリーパックの保存は、－10℃～ 45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分の錆の原因になりますので避けてください。
- バッテリーパックは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
- バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

充電スタンドとACアダプターを接続してリチウムイオン充電池パックを充電します。

リチウムイオン充電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。専用充電スタンドでしか充電できません。

充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EBP-82は約3時間/EBP-81は約4 時間/EBP-89は約4.5時間です。

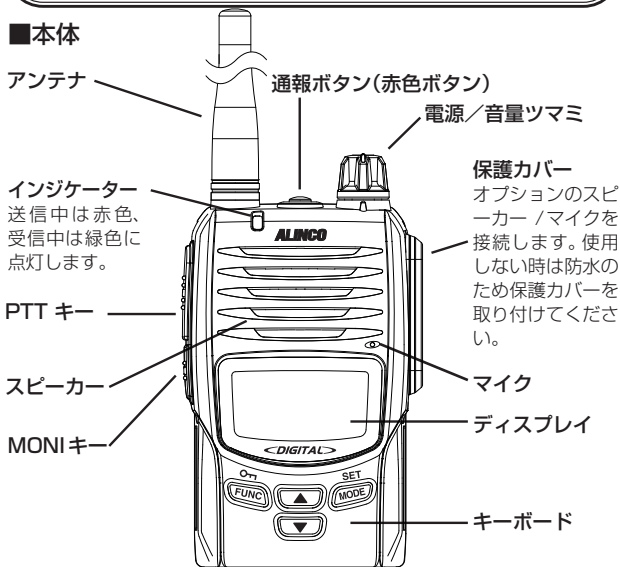
充電終了後、ACアダプターをACコンセントから外してください。
長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。
無線機を付けた状態でうまく充電できない場合は、電池単体で充電してみてください。
ACアダプター(EDC-175)を使用した場合、充電スタンド(EDC-196R)を最大6台連結して充電できます。
本体及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒等で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。(この際に充電端子を変形させないようにしてください。)
弊社のバッテリーパックは対応する弊社製品専用です。対応の純正充電器で充電できます。市販や他社製の充電器やアダプター等で充電すると電流量の違いなどから故障や事故の原因となる可能性があります。絶対に充電しないでください。
充電中、必ず本機の電源スイッチを切ってください。本機の電源スイッチがONのままで充電する場合、充電器の赤ランプが点滅し充電できないことがあります。

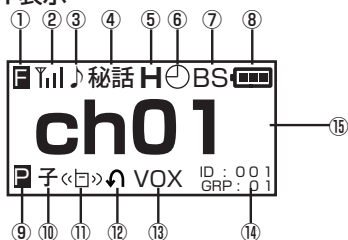
ACアダプター(EDC-175)は別売りです。ご購入いただいた販売店にてお買い求めください。

長時間使わないときは、バッテリーパックが空に近いときだけ1時間程度継ぎ足し充電をしてから本体から外して保存してください。
※バッテリーパックを非常に長期間(年単位)使わずに保存しておくと、状態にもよりますが劣化して使えなくなることがあります。

リチウムイオンバッテリーを保存するには50%程度の充電状態が最適と言われています。最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態での保存です。
また、リチウムイオン系電池は使用・保存状態の如何に関わらず、数年で容量が大幅に抜けてしまう性質を持っています。
3年程度を目安にバッテリーパックの交換をお勧めします。

2 本体の名称と動作

■本体

<table>
<tr><th colspan="2">キー名称</th><th>機　能</th></tr>
<tr><td colspan="2">PTT キー</td><td>押すと送信します。離すと受信に切り替わります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">MONI キー</td><td>設定したユーザーコードに関わらずそのチャンネルの音声をモニターします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">通報ボタン</td><td>個別通信時の相手局変更や設定変更時に押すと設定値(や、その一部)が点滅して変更可能になります。
約３秒間押すと緊急通報機能 (☞P.32)やプライベートチャンネル機能(☞P.30) を動作させます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">キーボード</td><td>FUNC キー</td><td>「FUNC」キーを押すと、FUNC モードになります。
約２ 秒間押すと、キーロック設定/解除ができます。</td></tr>
<tr><td>MODE キー</td><td>各種モードの変更や設定値変更時の桁移動に使用します。</td></tr>
<tr><td>▲/▼</td><td>周波数チャンネル番号、各設定項目のUP/DOWN</td></tr>
</table>

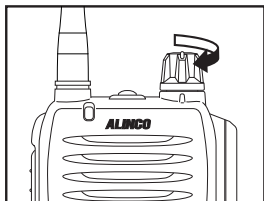
■ディスプレイ表示

説明		
①	F / 鍵	「FUNC」キーを押したときと、キーロック動作時(☞P,31)に点灯します。
②	アンテナ	受信した電波と送信出力のレベルに応じて三段階に点灯します。送信時には出力のレベルを表示します。 5W　2W　1W
③	♪	ベル機能設定時(☞P,36)に点灯します。
④	秘話	秘話通信設定時(☞P,39)に点灯します。
⑤	H/M/L/☒	送信時の出力レベルを表示します。
⑥	時計	オートパワーオフ機能動作時に(☞P,42)点灯します。
⑦	BS	バッテリーセーブ動作時(☞P,41)に点灯します。
⑧	電池	バッテリー残量を表示します。
⑨	P	プライベートチャンネル移行時(☞P,30)に点灯します。
⑩	子	子機間通話禁止機能で子機設定時(☞P.41)に点灯します。
⑪	((振動))	ショックセンサー動作時(☞P,44)に点灯します。
⑫	↶	コールバック機能動作時(☞P,39)に点灯します。
⑬	VOX/✉	VOX機能動作時(☞P,40)/ショートメッセージ受信時(☞P,44)に点灯します。
⑭	ID : 0 0 1 GRP : 0 1	自局のIDやグループが表示されます。
⑮	ch01	送信・受信チャンネル番号(周波数)や各設定内容を表示します。

3 基本操作

■電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。

■音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
受信しながら適切な音量に調整してください。
イヤホンで聞くときはボリュームを最小にしておいて、受信しながらゆっくりボリュームを上げてください。

■チャンネルを合わせる

「▲」キーまたは「▼」キーを押してch01～ch30を選択します。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切替わります。

■モニター機能

「MONI」キーを押している間、設定したユーザーコードに関わらず音声をモニターする機能です。
注意：秘話通信を設定している信号をモニターしても「ギャラギャラ」とノイズのような音が鳴り続け通話内容を聞き取ることはできません。

■相手局にあわせる（☞P.26）

個別通信で相手局の個別ID・グループを指定するときは、「通報ボタン」を押して表示を点滅させ「▲」・「▼」キーで相手局を選択し、もう一度「通報ボタン」を押すことで決定します。
（個別ID等の数が多いものは「MODE」キーで表示点滅の桁を移動させることができます。）

■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声が聞こえるようになります。（個別通信のときは相手局の個別IDが表示されます。）

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信状態になります。
「PTT」キーを押しながら、マイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm程離してください。
「PTT」キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

本機は送信を開始してから相手に音声が聞こえるまで若干の遅延があります、「PTT」キーを押したら一呼吸置いてからお話ください。

重要
・マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると、送信音が歪み（ひずみ）ますのでご注意ください。
・本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用した時と外部マイク等のアクセサリーを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

通信前のご注意

全てのデジタル方式トランシーバーには電波法に基づく下記の制限が設けられています。

キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、表示と音で警告し、送信できなくする機能です。
先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。
・各種の選択通話設定(ユーザー・個別・秘話等)されているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、キャリアセンスに気づかないことがあります。アンテナアイコンが表示されているときは、声が出ていなくても先に通話中の人が居ると判断できます。

送信時間制限装置

１回の送信で連続して送信できる時間は、「５分以内」と電波法で定められています。
連続した送信が５分を超えると自動的に送信を停止します。
停止後１分間は送信できなくなります。
チャンネルの独占や無駄な長話を防いでなるべく多くの人がチャンネルを共有して使えるようにするために設けられています。
送信時間制限が働く前に警告音を鳴らすことができます。(☞P.41)

通信の互換性について

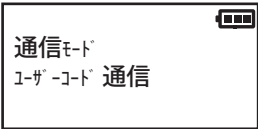
DJ-DP50Hは音声圧縮方式RALCWIを採用しており、本書を編集している時点では弊社製RALCWI方式のDCR無線機以外に通話ができる機種は他メーカーから発売されておりません。(AMBE+2™ 等、別方式を採用したDCRとは一切通信できません。)

通信方法

DJ-DP50Hで使用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

・・・・・・・・・・・ ユーザーコード通信 ・・・・・・・・・・・

セットモード「通信モード」でユーザーコード通信を選択しているとき、この通信方式になります。(☞P.37)
ユーザーコード通信は、同じチャンネルに合わせていても、ユーザーコードが一致している人同士だけでしか通信できない方式です。

ユーザーコードはセットモード「ユーザーコードの設定」(☞P.37)により0～511の中から選ぶことができます。
通話したいグループのメンバー全員に同じコードを設定してください。

ユーザーコードとは特定小電力トランシーバーの「グループトーク」、業務やアマチュア無線の「トーンスケルチ」と似た機能です。

■ユーザーコード通信の手順

①電源を入れます。

②チャンネルを合わせます。

③セットモードの「通信モード」にて「ユーザーコード通信」を選びます。(☞P.37)

通信ﾓｰﾄﾞ
ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞ 通信

④同じくセットモードで「ユーザーコードの設定」を選んでコードを合わせます。(☞P.37)

⑤「通報ボタン」を押して変更内容を確定した後、「PTT」キーを押してセットモードを解除します。

⑥「MODE」キーを押すことでチャンネルだけの表示とチャンネルとコードの表示とを切替できます。

以上で、ユーザーコード通信が出来るようになります。

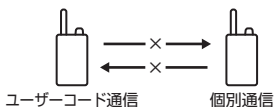
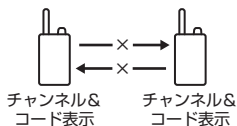
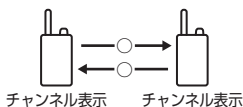
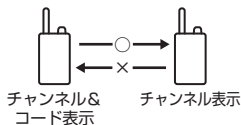
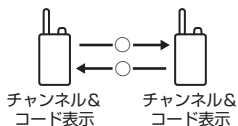
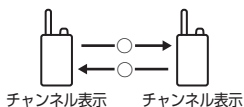
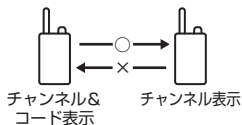
注意 ユーザーコード通信と個別通信(☞P.26)では通話できません、どちらかの通話方式に統一してお使いください。

ユーザーコード通信時の画面にはチャンネルだけ表示しているものとチャンネルとコードを表示しているものがあります。
それぞれの表示のときに送受信の動きが違いますので。
使用状況に合わせてお選びください。

■チャンネルだけが表示されているとき

ユーザーコードの設定が反映されません。後述の秘話が使われていない信号であれば全て交信できます。

■チャンネルとコードが表示されているとき

ユーザーコードが一致する信号のみ交信できます。

ユーザーコード通信
個別通信
注意
ユーザーコード通信・個別通信それぞれの通信モードは同じモード同士でしか通話できません。お互いの通話モードを合わせてご利用ください。
ユーザーコード不一致
ユーザーコード一致
チャンネル&
コード表示
チャンネル表示
チャンネル&
コード表示
チャンネル表示
チャンネル表示
チャンネル表示
チャンネル表示
チャンネル表示
チャンネル&
コード表示
チャンネル&
コード表示
チャンネル&
コード表示
チャンネル&
コード表示

・・・・・・・・・・・・・・・ 個別通信 ・・・・・・・・・・・・・・・

セットモード「通信モード」で個別通信を選択しているとき、この通信方式になります。(☞P.37)
個別通信では、ユーザーコードが一致している複数の交信相手を個人、グループ、全員のように指定して呼び出すことができます。
(自分のID・グループはセットモードで変更できます。)

■個別通信の設定

①電源を入れます。

②チャンネルを合わせます。

③セットモードの「通信モード」にて「個別通信」を選びます。(☞P.37)

通信ﾓｰﾄﾞ
個別通信

④同じくセットモードで「ユーザーコードの設定」を選んでコードを合わせます。(☞P.37)

⑤セットモードの「自局ID」・「グループ」
にて自分のID・グループをそれぞれ設定します。(☞P.37,38)

⑥「通報ボタン」を押して変更内容を確定した後、「PTT」キーを押してセットモードを解除します。

⑦「MODE」キーを押すことで個人・グループ・全員と交信相手を切替えることができます。

個別通信の手順は次ページから説明します。

注意 ユーザーコード通信(☞P.23)と個別通信では通話できません、どちらかの通話方式に統一してお使いください。

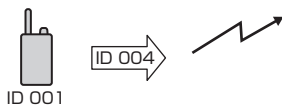
個別通信時の通常画面には個別表示・グループ表示・ALL表示の３種類があります。
交信には自分・相手とも個別通信モードでユーザーコードが一致している必要があります。

■個別表示のとき

特定の一人だけを呼び出せます。

・最大で999の個別IDが設定できます。
・同じ個別IDを複数の人に割り当てることもできます。
この場合はグループ呼び出しのように同じ個別IDの人全員をまとめて呼び出します。

「通報ボタン」を押して「相手局の個別ID」を点滅させてから「▲」・「▼」キーで相手局を選択します。このとき「MODE」キーを押すと表示点滅の桁が移動します。もう一度「通報ボタン」を押して点滅を止めたら選択が決定します。

<例>
ID番号004の人を呼びたいとき

■グループ表示のとき

選択したグループを呼び出せます。

G01 ～ G10の10組、設定できます。

「通報ボタン」を押して「グループ番号」を点滅させてから「▲」・「▼」キーでグループを選択します。もう一度「通報ボタン」を押して点滅を止めたら選択が決定します。

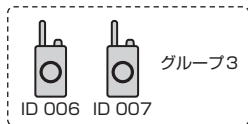
＜例＞
グループ３番のメンバーを
呼びたいとき

ID 001
グループ3

グループ1
ID 002 ID 003

グループ2
ID 004 ID 005

グループ3
ID 006 ID 007

グループ4
ID 008 ID 009

■ALL表示のとき

全員を呼び出せます。

＜例＞
全員を呼びたいとき

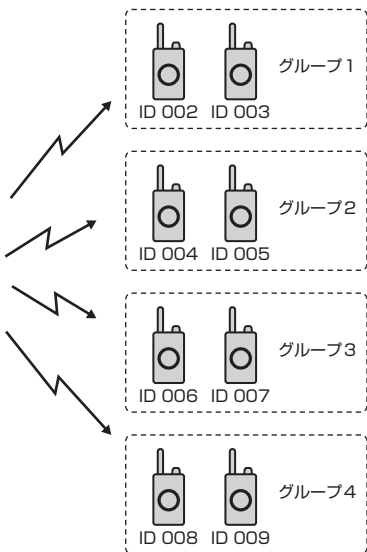
ID 001

ALL

グループ1
ID 002 ID 003

グループ2
ID 004 ID 005

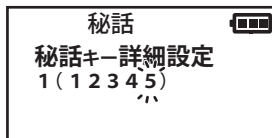
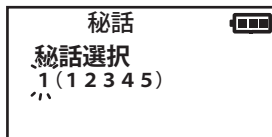
グループ3
ID 006 ID 007

グループ4
ID 008 ID 009

秘話通信

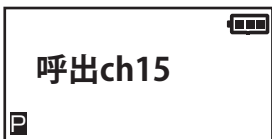
秘話キーの一致した無線機間でのみ交信できる機能です。
秘話ID1 ～ 16に32,767通りの秘話キーをそれぞれ割り当ててお使いいただけます。
(あらかじめ弊社工場出荷時に秘話IDには弊社が設定した秘話キーを割り当てておりますが、セットモードの「秘話ID(秘話キー)」(☞P.39)にて自由に変更ができます。

秘話
秘話選択
1(12345)

秘話
秘話キー詳細設定
1(12345)

注意 秘話キーが一致しない時は「ギャラギャラ」とノイズの様な音が鳴り続けます。

プライベートチャンネル機能

特定のチャンネルをプライベートCH呼出として設定することで、よく使うチャンネルとの切替を簡単にします。
セットモード「通報ボタンの役割」をプライベートCH呼出に設定し(☞P.37)、セットモード「プライベートチャンネル設定」にてチャンネルを設定してご利用ください。(☞P.39)
「通報ボタン」を約3秒押し続けていると設定された、プライベートチャンネルに移行します。(このとき左下にアイコンPが点灯します。
もう一度「通報ボタン」を押し続けると元のチャンネルに戻りプライベートチャンネルを解除します。

呼出ch15
P

呼び出し用チャンネルch15

ch15は呼び出し用チャンネルとなっており、ユーザーコード通信・個別通信・秘話通信はできません。また、このチャンネルは呼び出し用チャンネルですので通話相手を呼び出した後は別のチャンネルに移ってから通話してください。

6 便利な機能

キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。「FUNC」キーを２秒以上押すとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。キーロック時、「PTT」キー、「MONI」キー、「緊急通報機能」、電源のON/OFFの操作のみが可能です。キーロックを解除するときはもう一度「FUNC」キーを２秒以上押して「鍵アイコン」を消してください。

バッテリーレベルアイコン

本機のディスプレイに表示されるバッテリーアイコンは、バッテリーの残量を示します。バッテリーアイコンの中身が空になっているときは、バッテリーパックを交換するか、充電してください。

- バッテリーの残量が十分にあります。
- バッテリーの残量がまだあります。
- バッテリーの残量が減っています。充電をおすすめします。
- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐに充電してください。

リセット

一度電源を切り「FUNC」キー「PTT」キー「通報ボタン」を押しながら電源を入れると「RESET」が表示され、そこから再度「通報ボタン」を押すとご購入時の状態になります。

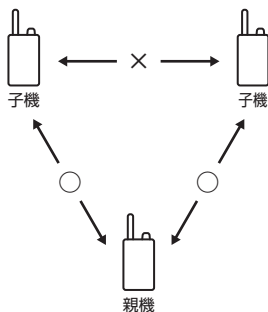
参考　販売店によって納入前に各設定がプログラミングされている時は、リセットが使えないことがあります。

緊急通報機能

「通報ボタン」を約３秒押すことで、自分・相手ともアラーム音がなり、相手に自分のIDを知らせます。
自分はもう一度「通報ボタン」を約３秒、相手は「PTT」キーを押すことでアラームが止まり表示が元に戻ります。

セットモードの「通報ボタンの役割」を「エマージェンシー」に設定してからご利用ください。(☞P.39)

子機間通話禁止機能

親機と子機間のみ通信可能にし、子機どうしの通信は禁止させることができるモードです。(子機設定のとき「子機アイコン」点灯)

この機能を使わないときは本機を親機に設定してください。この機能を使うときは設定を子機にしてお使いください。
(セットモードの「子機間通話禁止機能設定」☞P.39)

7 セットモード

セットモード一覧

DJ-DPS50をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■簡易セットモード

項　目	表示項目	初期値		参照
送信出力設定	送信ﾊﾟﾜｰ	High	OFF/Low/Middle/High	P.35
スケルチ調整	ｽｹﾙﾁ	3	1 ～ 9	P.35
エンドピー設定	エンドピー	OFF	OFF/ON	P.36
マイク感度	ﾏｲｸ感度	標準	低い / 標準 / 高い	P.36
ベル機能	BELL	OFF	OFF/ON	P.36
ビープ音量設定	ビープ音量設定	2	OFF/1～4	P.36
PTT ビープ機能	PTT ビープ	OFF	OFF/ON	P.36

■セットモード

項　目	表示項目	初期値	設定値	参照
通信モード	通信ﾓｰﾄﾞ	ユーザーコード通信	ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞ通信 / 個別通信	P.37
ユーザーコードの設定	ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞ	000	000 ～ 511	P.37
自局 ID	自局 ID	001	001 ～ 999	P.37
個別呼出時の切替	個別呼出時の切替	OFF (切替なし)	OFF/5 秒 /10 秒 /30 秒 /60 秒 /完全に切替わる	P.38
グループ呼出時の切替	GRP 呼出時の切替	OFF (切替なし)	OFF/5 秒 /10 秒 /30 秒 /60 秒 /完全に切替わる	P.38
全員呼出時の切替	全員呼出時の切替	OFF (切替なし)	OFF/5 秒 /10 秒 /30 秒 /60 秒 /完全に切替わる	P.38
▲▼キーの単独の動作	▲▼キー単独の動作	チャンネル変更	チャンネル変更 / 個別モード ID 変更	P.38
グループ	自局のｸﾞﾙｰﾌﾟ	01	01 ～ 10	P.38
秘話 ID（秘話キー）	秘話選択	OFF	OFF/1 ～ 16 (00001～32767)	P.39

■セットモード

項　目	表示項目	初期値	設定値	参照
通報ボタンの役割	通報ﾎﾞﾀﾝの役割	プライベートCH呼出	エマージェンシー/プライベートCH呼出	P.39
プライベートチャンネル設定	ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄCH番号	15	1～30	P.39
コールバック機能	ｺｰﾙﾊﾞｯｸ	OFF	OFF/ON	P.39
VOX機能	VOX	OFF	OFF/1～7	P.40
子機間通話禁止機能	子機間通話禁止	親機	親機/子機	P.41
送信制限警告機能	送信制限警告	ON	OFF/ON	P.41
バッテリーセーブ	ﾊﾞｯﾃﾘｰｾｰﾌﾞ	OFF	OFF/ON	P.41
オートパワーオフ	APO	OFF	OFF/30分/1～6時間	P.42
表示タイマー	表示ﾀｲﾏｰ	OFF	OFF(常灯)/5・10・30秒/1分	P.42
コントラスト設定	ｺﾝﾄﾗｽﾄ	8	1～10	P.42
照明設定	照明設定	5秒	消灯/5秒/常灯	P.42
デュアルオペレーション機能	Dual Operation	OFF	OFF/ON	P.43
デュアルメインチャンネル設定	Dual main CH	1	1~30	P.43
デュアルサブチャンネル設定	Dual sub CH	2	1~30	P.43
デュアル再開時間設定	Dual Timer	5秒	1~10秒	P.43
上空用チャンネル設定	上空用チャンネル	OFF	OFF/ON	P.44
減電池警告音	減電池警告音	OFF	OFF/30秒/1~10分	P.44

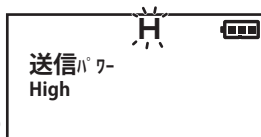
簡易セットモード

●簡易セットモードの設定方法

①「FUNC」キーを押した後「MODE」キーを押して簡易セットモードに入ります。
②「▲」・「▼」キーを押して設定したい項目に合わせます。
③「通報ボタン」を押して設定値を点滅させて「▲」・「▼」キーで設定内容を変更します。
④もう一度「通報ボタン」を押して設定内容の点滅を止めると設定が決定します。
⑤「PTT」キーを押すと簡易セットモードから通常モードに移行します。

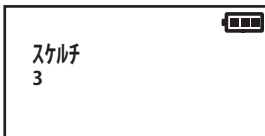
■送信出力設定

送信出力を設定します。

High　:送信出力5W (「H」が点灯します。)
Middle:送信出力2W (「M」が点灯します。)
Low　:送信出力1W (「L」が点灯します。)
OFF　:送信しない　(「☒」が点灯します。)
受信専用の端末としてもご利用できます。

送信出力を小さくすると、その分バッテリーが長持ちします。
通話範囲が狭い時はMiddleかLowで通話テストをして状態が良ければそのままお使いになることをおすすめします。

■スケルチ調整

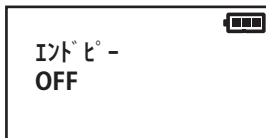
電波信号の強さによって受信を開始するレベルを設定できます。

スケルチレベルは１～９の間で設定できます。

アナログ無線機のようにレベル最低時に「ザー」とノイズが聞こえることはありません。この設定は頻繁に変える必要はありません。

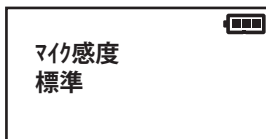
■エンドピー

送信終了時に「ピッ」と短いビープ音を鳴らして送信の終わりをわかりやすく伝える機能です。

ON　：有効
OFF ：無効

ｴﾝﾄﾞﾋﾟｰ
OFF

■マイク感度

マイクの感度を設定します。
マイク感度は低い/標準/高いの間で設定します。
音が歪むと言われる時は低いに、声が小さいと言われる時は高いにします。

ﾏｲｸ感度
標準

■ベル機能

信号を受信するとベル音とアイコンを点滅させてお知らせする機能です。

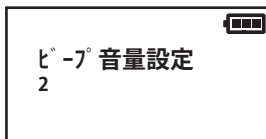
ON　：有効（ベルアイコンが点灯します。）
OFF ：無効

BELL
ON

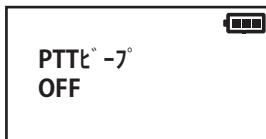
■ビープ音量設定

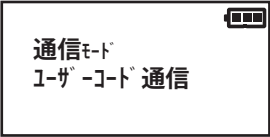
キー操作時になるビープ音の音量を調節することができます。

ビープ音量は1（小）⇔4（大）で設定できます。
ビープ音はOFFにすると鳴らなくなります。

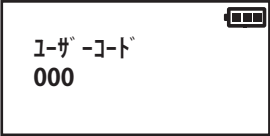
ﾋﾞｰﾌﾟ音量設定
2

■PTTビープ機能

送信直後に「ピピッ」とビープ音を鳴らして通話開始時の頭切れを防ぐ機能です。

PTTﾋﾞｰﾌﾟ
OFF

セットモード

●セットモードの設定方法

① 一度電源を切り「通報ボタン」を押しながら電源を入れるとセットモードに入ります。
(ディスプレイに「SET MODE」と約2秒間表示されます。)

SET MODE

②「▲」・「▼」キーを押して設定したい項目に合わせます。
③「通報ボタン」を押して設定値を点滅させて「▲」・「▼」キーで設定内容を変更します。(設定値の桁数が多いときは、設定値が点滅中に「MODE」キーを押すと、桁移動することができます。)
④もう一度「通報ボタン」を押して設定内容の点滅を止めると設定が決定します。
⑤「PTT」キーを押すとセットモードから通常モードに移行します。

■通信モード

ユーザーコード通信か個別通信か選択する機能です。

通信ﾓｰﾄﾞ
ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞ通信

■ユーザーコードの設定

ユーザーコードを0～511の間で選択できます。

ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞ
000

■自局ID

個別通信で使用する自分用のIDを1～999の間で選択できます。

自局ID
001

■個別呼出時の切替

個別通信で自局の設定に関係なく個別呼出しされた場合、個別表示に一定時間切り替わった後、元の設定に戻る方式と完全に切り替わる方式を設定できます。

個別呼出時の切替
OFF（切替えなし）

■GRP（グループ）呼出時の切替

個別通信で自局の設定に関係なくグループ呼出された場合、グループ表示に一定時間切り替わった後、元の設定に戻る方式と完全に切り替わる方式を設定できます。

GRP呼出時の切替
OFF（切替えなし）

■全員呼出時の切替

個別通信で自局の設定に関係なく全員呼出しされた場合、ALL表示に一定時間切り替わった後、元の設定に戻る方式と完全に切り替わる方式を設定できます。

全員呼出時の切替
OFF（切替えなし）

■[▲][▼]キー単独の動作

[▲][▼]キーを単独で押した時にチャンネル変更か、個別モードのID（またはグループ番号）変更かを設定できます。この設定を変更すると、チャンネル番号切り替えとID（またはグループ番号）切り替えの操作方法が入れ替わります。

▲▼キー単独の動作
ﾁｬﾝﾈﾙ変更

■グループ

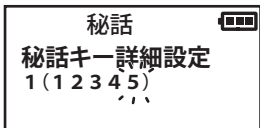
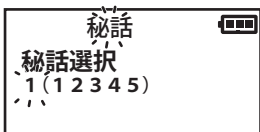
個別通信で使用する、グループ区分を設定します。
最大10のグループ（1 ～ 10）に分けることができます。

自局のｸﾞﾙｰﾌﾟ
01

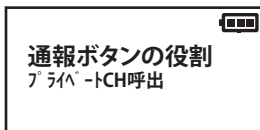
■秘話ID(秘話キー)

秘話通信(☞P,30)で使用するIDをOFF/1 ～ 16の間で選択できます。
IDがOFF以外のとき表示を点滅させずに「MODE」キーを押すとIDに割り当てられている秘話キーを変更することができます。

秘話
秘話選択
1(12345)

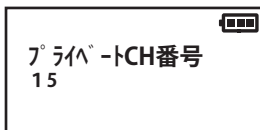
秘話
秘話キー詳細設定
1(12345)

■通報ボタンの役割

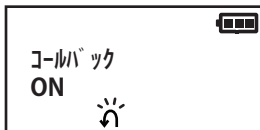
「通報ボタン」を３秒間押し続けたときの動作を設定します。

通報ボタンの役割
ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄCH呼出

エマージェンシー　　：緊急通報機能(☞P,32)
プライベートCH呼出：プライベートチャンネル機能(☞P,30)

■プライベートチャンネル設定

プライベートチャンネルに割り当てるチャンネルを設定します。

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄCH番号
15

■コールバック機能

送信中自分が話している声をイヤホンで聞くことができる機能です。
ON　:有効
OFF :無効

注意
・外部イヤホンマイク、ヘッドセットのときのみ有効です。
・外部スピーカーマイクのときはハウリングが発生するため使用できません。

■VOX機能

「PTT」キーを押して送信する代わりに、「本機に入ってきた声」に反応して自動的に送信する機能です。
話しかければ自動的に送信し、黙っていれば自動的に送信を終了します。
VOX感度は

VOX
1:大声で送信
VOX

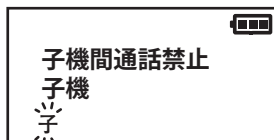
OFF/1:大声で送信/2・3/4:普通の声で送信/5・6/7:小声で送信

の中から設定できます。
VOX機能有効時には画面の下に「VOXアイコン」が点灯します。
VOX機能を解除するにはOFFを選びます。

・感度を上げすぎると小さな声や回りの音、本機に対する衝撃などでも送信してしまうことがあります。
・VOX機能は外部マイクでも使用できますが、一部オプション使用時には利用できません。(☞P.48)
・感度調整をおこなっても、周囲の音が大きいところでは誤って送信してしまうことがあります。
・本機は受信してから音声がでるまで若干のタイムラグがございます。いきなり用件を言うと頭切れを起こしてうまく伝わらないことがありますので、ご注意ください。

■子機間通話禁止機能

子機間通話禁止機能 (☞P,32) で親機か子機か設定する機能です。

子機間通話禁止
子機
子

■送信制限警告機能

送信時間制限装置 (☞P,22) による、「5分間」の連続送信時間に近づいたことを警告音を鳴らして知らせる機能です。

送信制限警告
ON

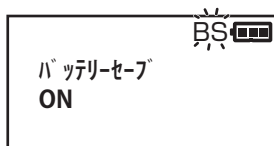
送信終了30秒前「ピピピ」
送信終了5秒前「ピー」

OFF　:警告音を鳴らさない
ON　　:警告音を鳴らす

注意 送信時間制限装置が動作すると強制的に受信状態となり、その後1分間は送信できません。

■バッテリーセーブ

本機内部で電源を短い間隔でON/OFFさせることで、待機中の消費電力を抑え、バッテリーを長持ちさせる機能です。
通常はOFFでお使いください。

ﾊﾞｯﾃﾘｰｾｰﾌﾞ
ON

ON　　:バッテリーセーブ有効
OFF　:バッテリーセーブ無効

デジタル通信では、無線機は自分の交信相手かどうか等を確認するデータを毎回発信します。バッテリーセーブ中にこの信号を受けると認識できず、呼び出し自体を無視することがあります。このため、特に業務ユーザーはこの設定を無効にしておくことをお勧めします。

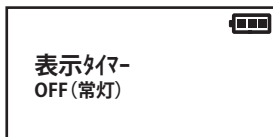
■オートパワーオフ

APO
30分

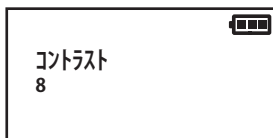
自動電源オフ(Auto Power Off)、設定した時間無操作状態が続くとビープ音が鳴り自動的に電源が切れます。
OFF/30分/1～6時間から選択できます。

■表示タイマー

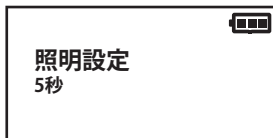
表示タイマー
OFF(常灯)

チャンネルや相手局の個別ID・グループ等ディスプレイに表示される情報を普段見えなくする機能です。設定した時間無操作が続くか「PTT」キーを押すと回りに見えないように表示を隠します。
OFF(常灯)/5・10・30秒/1分から選択できます。

■コントラスト

コントラスト
8

ディスプレイの色の濃さを1～10の間で調節できます。初期値は8です。

■照明設定

照明設定
5秒

ディスプレイの照明の設定です。
消灯/5秒/常灯から選択できます。

■デュアルオペレーション モード

メイン/サブの二つのチャンネルを1秒ごとに交互に受信し、そのどちらとも通信することができます。

デュアルオペレーション機能を有効に設定後、チャンネルを切替え、チャンネル表示が抜き文字になるチャンネルに合わせるとデュアルオペレーションモードで動作します。

Dual Operation
OFF

送信する

メイン側に送信する場合は[PTT]キーを、サブ側に送信する場合は、[MONI]キーを押します。
送受信が終了した後、1～10秒(Dual Timerの値)経過すると1秒ごとの交互待ち受けを再開します。

メモ：オプションのスピーカーマイク等で送信する場合は、外部PTTキーの一度押しでメイン側を、二度押しでサブ側を送信できます。

Dual main CH
1

Dual sub CH
2

受信

メイン側を受信すると「メイン側入感あり」と表示され、「ピッ」音が鳴ります。
また、サブ側を受信すると「サブ側入感あり」と表示され、「ピピッ」音が鳴ります。

Dual Timer
5

注意
・デュアルオペレーションモードに設定されているときは、モニター機能は使用できません。
・受信局側がデュアルオペレーションモードに設定されている場合は通常モードより反応が遅くなります。

■上空用チャンネル受信

上空用チャンネル(S1〜S5)受信機能の使用を設定します。

上空用チャンネル
OFF

OFF : 使用しない
ON　: 使用する

注意 ・上空用チャンネルでは、送信できません。(送信出力表示が☒になります)

■減電池警告音の設定

電池の残量が極端に少なくなると、警告音を鳴らして充電池の充電時期または乾電池ケースの乾電池の交換時期をお知らせします。

減電池警告音
OFF(警告なし)

OFF　　　: 使用しない
時間ごと : 設定時間ごとに、「ピーピーピー」と警告音が鳴ります。
設定時間は、30秒、1分〜10分(1分間隔)から選択できます。
バッテリーアイコンが ▭ 表示になると、警告音が鳴り始めます。

PC拡張機能

別売のERW-8ケーブルを使い、パソコンから設定をすることでDJ-DP50Hの機能を拡張することができます。
詳細は、弊社ホームページ(http://www.alinco.co.jp/電子機器(無線機)→電子事業)に掲載しています。

・ショートメッセージ機能
文字の短いメッセージを相手に送ることができます。
・ショックセンサー
本機は振動や傾きを感知するセンサーを搭載しています。急に無線機を移動させたりすると音や電波を出す機能です。
・エコモード
バッテリーセーブモードよりさらに電池を長持ちさせる機能です。送信を開始するまでに若干の遅延が発生します。

8 保守・参考

・・・・・・・ 故障とお考えになる前に ・・・・・・・

次のような症状は故障ではありませんので、よくお確かめになってください。処置をしても異常が続くときは、リセットをすることで症状が回復する場合があります。設定プログラム・CPU関連の問題は、リセットをすることで回復する場合が多いものです。

症 状	原 因	処 置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。
スピーカーから音が出ない。受信できない。「ギャラギャラ」音が聞こえる。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。
	スケルチレベルが高すぎる。	適切なレベルに調整する。
	「PTT」キーが押され、送信状態になっている。	「PTT」キーを離す。
	秘話キーが一致していない。	秘話キーを一致させる、もしくは送信側と受信側の秘話キーをOFFにする。
受信中に表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
送信ができない。送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押して、TX/RXランプを赤く点灯させてから送信する。
	チャンネル(周波数)や通信設定が間違っている。	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる。
	キャリアセンスが働いている。	信号がなくなるのを待ってから送信する。
	送信出力がOFFになっている。	送信出力をLow,Middle,Highにする。
送信ができない。送信すると、表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。

症 状	原 因	処 置
チャンネル(周波数)が切替わらない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
表示が異常になっている。	CPUが誤動作している。	リセットする。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
充電スタンドの赤色ランプが点滅する。	充電スタンドの保護回路が働いています。	電源スイッチを切って充電してください。

■無線機の状態に異常があるとエラー表示が出ます。故障を示すエラー表示もあります。その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」(☞P,47)をご覧の上、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

■自動車やバイクなど比較的速い速度で移動する局との通信やアンテナがブラブラ揺れるような状態で使用するとフェージングでエラーが発生して通話が安定しないことがあります。これは走行中の車内では乱れて見えるテレビ画面が停車すると安定するのと同じ理由で発生する、電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。

■秘話や個別・グループ呼出機能を使うと通話距離が若干短くなることがありますが、異常ではありません。

※保護カバーなどの防水パーツは消耗品です。
メーカーによるIP67相当の耐塵防浸性能の保証期間は1年間です。
アフターサービスが必要な場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
最寄りの販売店の検索には、http://www.alinco.co.jpの「販売店のご案内」リンクをご利用ください。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は、所定事項(ご購入店名、ご購入日)への記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。ご購入時の記載、またはそれを証明するレシート等の書類が無い場合は無効となりますので充分ご注意ください。

■保証期間

お買い上げの日より１年間です。
正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■保証期間が経過した場合

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。
アフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。但し不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、予めご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後５年です。

9 オプション一覧

EBP-81	リチウムイオン充電池パック(7.4V 2100mAh)
EBP-82	リチウムイオン充電池パック(7.4V 1500mAh)
EBP-89	リチウムイオン充電池パック(7.4V 2650mAh)
EDC-196R	シングル充電スタンド(連結仕様)
EDC-283	ACアダプター(シングル充電用)
EDC-175	ACアダプター(連結充電用)
EDH-39	乾電池ケース
EMS-66 (*1)	スピーカーマイク(防水プラグ)
EMS-72 (*4)	防水スピーカーマイク(防水プラグ)
EME-40A(*2)	ヘルメット用ヘッドセット(防水プラグ)
EME-41A	イヤホンマイク(防水プラグ)
EME-43A	咽喉イヤホンマイク(防水プラグ)
EME-45A	ヘッドセット(防水プラグ)
ESC-54	ハードケース
EDS-16 (*3)	変換アダプター
EA-193	ロングアンテナ
EA-198	ミドルアンテナ
EBC-27	ベルトクリップ

(*1) スピーカーマイク(防水プラグ)は、VOX機能は使えません。
(*2) バイク用ヘルメットには使用できません。
(*3) 従来のオプション(2ピンタイプのイヤホンマイク)を使用するには、変換アダプター(EDS-16)が必要です。外部電源端子は使えません。
(*4) ねじ止め防水プラグとIP67相当の耐塵防浸仕様、イヤホンジャックは搭載しません。VOX機能は使えません。

■EBP-81、EBP-82、EBP-89 は無線機に正しく装着された場合にのみIP67 相当の耐塵防浸保護が機能します。故障の原因に直結するので、単独の状態では絶対に水に濡らさないでください。

■本機は音声出力が大きいのでイヤホン、イヤホンマイク、ヘッドセットをお使いになる時は、音量調節に充分ご注意ください。音を大きくし過ぎると、耳を痛める事があります。

10 定 格

■一般仕様

送信周波数	351.20000～351.38125MHz 30ch
受信周波数	351.16875～351.38125MHz 30ch+5(上空用チャンネル S1～S5)ch
電波型式	F1C F1D F1E F1F
アンテナインピーダンス	50Ω
定格電圧	7.4V
消費電流	1.7A以下(送信時：5W) 1.1A以下(送信時：2W) 0.9A以下(送信時：1W) 500mA以下(受信時) 85mA以下(待ち受け時) 50mA以下(バッテリーセーブ時)
外形寸法(突起物除く) W×H×D	56.9×98.5×48.0mm EBP-81装着時 56.9×98.5×43.5mm EBP-82装着時 56.9×98.5×48.0mm EBP-89装着時
重量 (ミドルアンテナ装着時)	約309g(EBP-81装着時) 約280g(EBP-82装着時) 約307g(EBP-89装着時)
使用温度範囲	－20℃～＋60℃

■送信部

送信出力	5W/2W/1W(偏差：＋20%、－50%)
変調方式	4値FSK
周波数偏差	±1.5ppm
占有周波数帯域幅	5.8KHz以下
最大周波数偏移	±1324Hz以内
スプリアス発射強度	2.5uW以下

■受信部

受信感度	－8dBu(BER　1×10^{-2})
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
低周波出力(最大時)	700mW以上
副次的に発する電波などの強度	4nW以下

■参考

<table>
<tr><td>長さ</td><td colspan="2">ミドルアンテナ　100mm
ロングアンテナ　220mm</td></tr>
<tr><td>充電時間
EBP-81(2100mAh)装着時
EBP-82(1500mAh)装着時
EBP-89(2650mAh)装着時</td><td colspan="2">
約4時間
約3時間
約4.5時間</td></tr>
<tr><td>運用時間（*1）
EBP-81(2100mAh)装着時
EBP-82(1500mAh)装着時
EBP-89(2650mAh)装着時</td><td>バッテリーセーブ有効時
約13時間
約10時間
約16時間</td><td>バッテリーセーブ無効時
約11時間
約8時間
約14時間</td></tr>
</table>

(*1）送信出力5W時、送信5秒、受信5秒、待ち受け90秒の繰り返し。

本製品はRoHS非対応です。
This product is NOT RoHS compliant and intended for use only where permitted.